

## 2009 不正経は氷山の一角

5月14日、市民オンブズマン茨城の総会にて、「預け金 イコール裏金」と題した、川本さんの記念講演会がありました。茨城県は、千葉県の隣接県、橋本知事が5選したことにより不正経の解明が頓挫するのではとの懸念から、今後の活動の参考ということで千葉県議会で千葉県の不正経を追及してきた川本さんが招かれました。



不正経理の問題点は、ここ。川本さんは4年前に危険性を訴えていました。

### 【私の目指す千葉県像】

県基本方針で一番に是正すべきものとして、幕張、上総などの「**外来型の拠点開発**」と県都1時間構想による「**高規格道路ネットワーク**」事業があげられます。これらは県財政の2兆数千億円にのぼる借金の主要な要因の1つとなり、後者は「**ストロー効果**」による地域の疲弊を加速します。国の補助金目当てに開発型公共事業を推進する県行政、それらに依存する地方、という構図ではいずれ破たんすることは明らかです。

一方、少子高齢化や過疎化の中でも元気な地域に共通するのは、伝統文化や自然環境などの地域の資源を活用し、住民自ら工夫して新たな「**個性**」を創出していくことです、**トップダウンの「外来型開発」から、住民が主役で中小零細業者を含め地域が元気になる「まち育て」へと公共事業、地域振興のあり方を根本的に見直す時期です。**

たくさんの資料と、プロジェクターによる、2009年9月～2010年9月の1年間に及ぶ不正経理の追及について語り始めると、会場からは、「オー!」「ホー!」「桁が違う!」と驚きの声があちこちから聞こえました。



不正経理

外来型拠点開発  
天下り

「八百長と学芸会」の議会

千葉県の不正経理ではたくさんの問題が明るみに出ますが、それは氷山の一角。その下にどれだけの問題が眠っているか。**今期の県議会にそれを追及できる議員がいるでしょうか。**



2010年12月定例県議会の農林水産常任委員会中、自民党の秋山議員が提案した「千葉県酪農のさと指定管理者の指定について」の付帯決議案について、「市民ネット・社民・無所属会派」の吉川議員からの指摘・質問の**答弁に困った秋山議員は県職員の席に向かって「そっちが作ったのだから・・・」**と正に「八百長と学芸会」の実態を暴く発言をしました。

しかし、この発言は県議会の「会議録」から削除されています。

千葉県議会の常任委員会は傍聴はできますが(10名ほど)中継はありません。常任委員会こそ、県政の様々な決定に関わる機関ですので、是非中継してほしいです。中継されると困る議員もたくさんいることと思いますが。

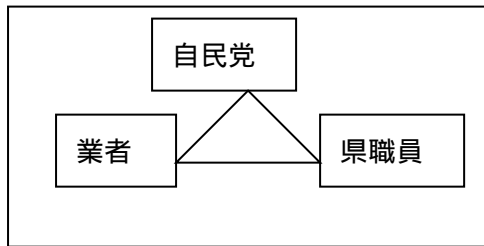
なぜ、臭いものに蓋なのか？！

- ・ 腐敗のルーツは80年度～90年度の5期20年の沼田県政にある
- ・ 当時の課長クラスが県幹部となっている  
自民党は県人事にも口出ししていた
- ・ 自民党は、議会における審議放棄と引き換えに水面下で幹部と手を組み利権を実現 「八百長と学芸会」議会
- ・ 不正を追求することは、沼田県政、現在の幹部、自民党の腐敗をさらけ出すことになる。
- ・ 森田知事にとって、自らの支持基盤を壊すことになる。



2010年2月県議会において、自民党以外の会派が「不正経理調査特別委員会」継続を提案しましたが、過半数を占める自民党によって否決されました。「徹底的にウミを出す」と言っていた森田知事も「県として、できる限りの調査を行い、(中略)最も悪質な腫瘍となる部分については取り除いたと考えております。」と自民党と一緒に幕引きをしました。この発言からも、まだ、悪質になる可能性のある腫瘍は残っているとも言えますね。

千葉県の上不正経理は、業者から自主的に提出された帳簿を「正」として調査を進めてきました。しかし、業者帳簿が提出されないため突合できないものが3割以上(部によっては半分以上)あり、未提出の業者に対して、県は、業者に「協力していただく」「調査以外には公開しない」など、業者をかばう姿勢を見せていますが、それは帳簿や業者が明らかになることによって、**不正の実態が明らかにされないようにという自民党・県職員をかばう姿勢**であると、さらに、この不正経理の解明から **さらにはばれないような不正の体制**も懸念されるとも川本さんは言われています。



無駄な公共事業・天下り等等

この関係の中で生み出された裏金であるプール金の調査対象は、消耗品費約64億円のみ。千葉県の年間予算1兆6千億円の約0.4%。調査されなかった部分の問題は見えませんが、この不正経理の構造と拠点開発などの公共事業の構造は同じと、川本さんは指摘しています。

質問の時間になって「質問しようがないほどひどい」の声が出るほど。改めて、千葉県民として恥ずかしい思いがふつふつとわいてきました。

【質問】

川本さんの調査についての県民からの反応は？

【川本さん】

県議会への信頼がないのか、大きな運動にはならなかった。話をすると怒りはあったが、選挙では自民が勝った。議会の監視機能を県民が理解していなかった。

今回の選挙では、自民党がさらに議席を増やし、常任委員会でも委員長・副委員長の席を独占しました。議会での採決でも自民党の思うがまま。また、各委員会・特別委員会では、委員長報告のまとめは、「委員長・副委員長に一任願います」という締めくくりがあります。どんなに議論されても、その議論が委員長報告に入るか否かは、委員長・副委員長にかかっています。自民党に反対する要望が取り上げられるには、**きちんとした調査による発言が不可欠です。**今期の県議会にそれができる議員がいるでしょうか。



震災の影響があったとしても、千葉県緑区の投票率は約46%。**半分以上の方が棄権**しています。県民が選挙への関心が薄くなった背景には、長い自民政権が確立してきた構造もあるでしょうが、**国民として納税の義務を負わされている以上、その税金の使い道をきちんとチェックする自覚も必要か**と思います。

県民による議会の監視を！